

授業科目 地域ケアシステム論

【担当教員名】 清水由美子	対象学年	2	対象学科	看護
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	15

【<概要>又は<一般目標：GIO>】

各ライフステージ別、健康課題別のヘルスケアシステムとライフステージの特徴をとらえた自立支援とQOLの向上をめざした援助の具体的な方法を学習する。

【<学習目標>又は<行動目標：SBO>】

1. 地域で生活している人々のQOL向上を目指した健康支援活動と展開方法とケアシステムの意義について説明できる。
2. ライフステージ別のヘルスケアシステムについて説明できる。
3. 健康課題別のヘルスケアシステムについて説明できる。
4. 地区組織活動の意義および保健師によるグループ支援の方法について説明できる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	地域における健康支援活動の展開方法と地域ケアシステム	1~3	講義
2	地域母子保健活動	2	講義
3	地域成人・高齢者保健活動 1	2	講義
4	地域成人・高齢者保健活動 2	2	講義
5	障害者・難病対策と保健活動	3	講義
6	結核対策および健康危機管理（感染症、災害）における保健活動	3	講義
7	地域ケアシステムの構築とネットワーク化	4	講義

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	地域看護学	荒賀直子・後閑容子	インターメディカル	3,390円
	国民衛生の動向	厚生統計協会		2007年 2,400円
参考書	標準保健師講座 3 対象別地域看護活動	松田正己	医学書院	3,360円
	国民衛生の動向	厚生統計協会		2008年 2,400円
その他の資料				

【評価方法】 出席状況および学習態度 (20%) 筆記試験、レポート (80%)	【履修上の留意点】
--	-----------